

横浜市における “父親の子育て”支援の取組について



2013年10月8日
横浜市こども青少年局企画調整課
企画調整担当係長 関 弥生子

横浜市における “父親の子育て”支援の取組

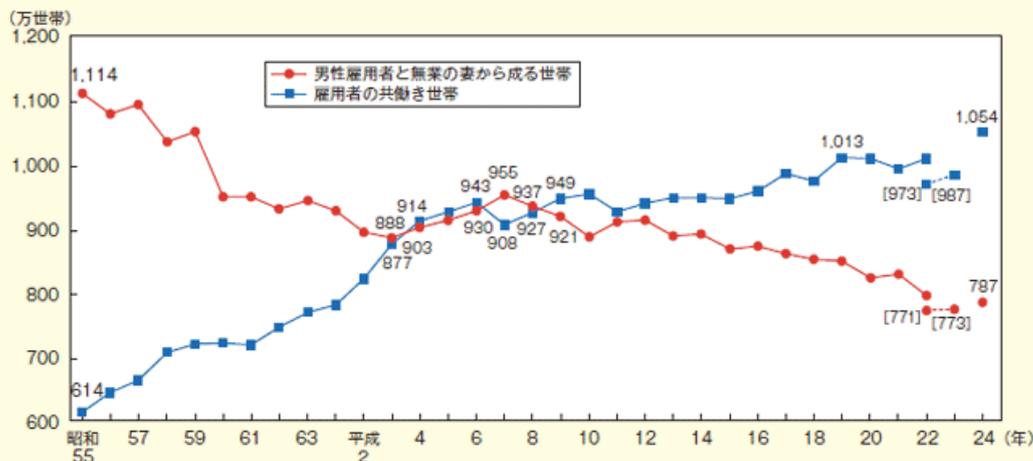
- 1 背景
- 2 取組紹介
- 3 周辺の取組紹介



共働き世帯の増加

平成9年以降は、共働き世帯の方が多くなり、差は拡大している。

第1-2-19図 共働き等世帯数の推移



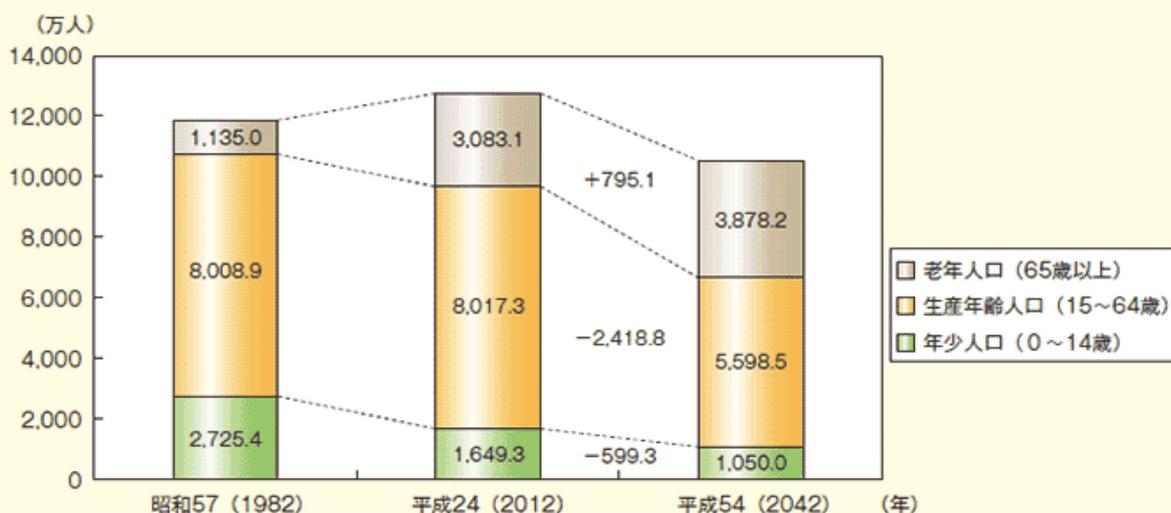
(備考) 1. 昭和55年から平成13年までは総務庁「労働力調査特別調査」(各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月)、14年以降は総務省「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。
2. 「男性雇用者と無業の妻から成る世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働力人口及び完全失業者)の世帯。
3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。
4. 平成22年及び23年の〔 〕内の実数は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

(出典)平成25年版男女共同参画白書

求められる女性の社会進出

少子化の進行とともに、生産年齢人口の減少に伴う労働力の不足が懸念されている。

第1-特-2図 30年ごとの人口の増減(昭和57年→平成24年→54年)



(備考) 総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(出生中位・死亡中位)より作成。

(出典)平成25年版男女共同参画白書

求められる女性の社会進出

「女性の活躍推進」が、国の成長戦略の一つとして挙げられている

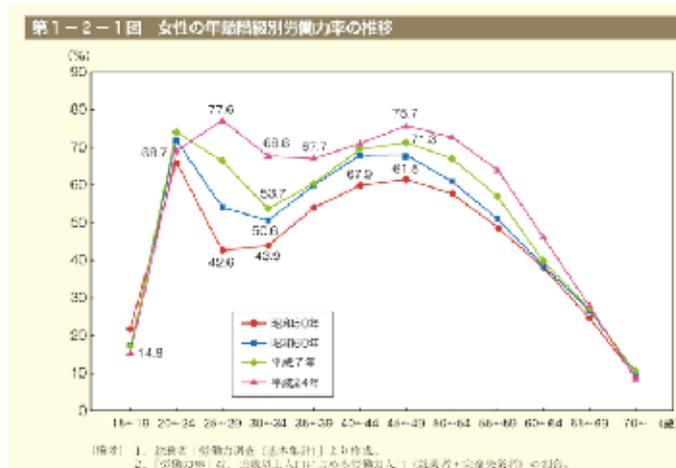
◆「待機児童解消加速化プラン」の策定

→待機児童ゼロを実現(H25.4)した、横浜モデルの全国展開

◆日本再興戦略 —JAPAN is BACK—

の成果目標

→女性の就業率(25～44歳)を
73%にする(現状68%)



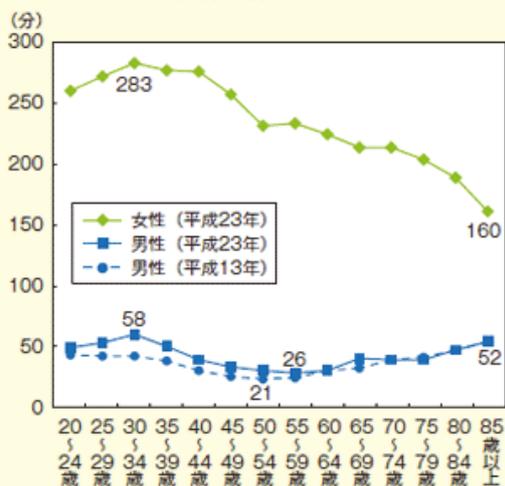
(出典)平成25年版男女共同参画白書

育児・家事時間が短い父親 ～しわ寄せは母親に

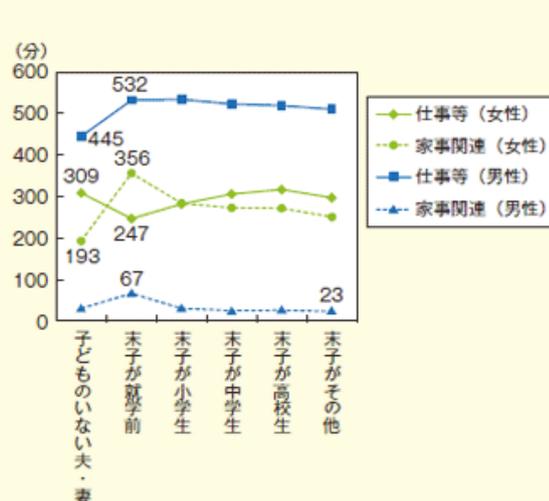
男性の家事関連時間は女性に比べ少なく、子どもが小さい時期に仕事が忙しい

第1-特-41図 有業・有配偶者の1日あたり平均家事関連時間(男女別)

a. 有業・有配偶者の年齢階級別1日あたり平均家事関連時間(平成13年、23年)



b. 共働き男女のライフステージ別1日あたり仕事等の平均時間と平均家事関連時間(平成23年)



(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」(平成13年、23年)より作成。

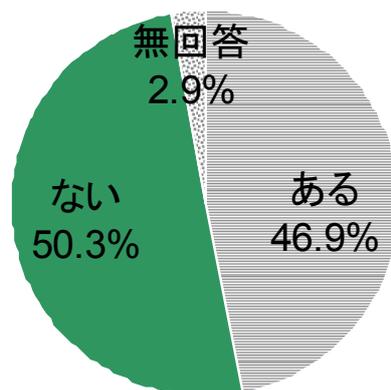
2. 仕事等の時間には、通勤・通学、仕事、学業が含まれる。また、家事関連時間には、家事(炊事、掃除、洗濯、縫い物、家庭雑事)、介護・看護、育児、買い物が含まれる。

(出典)平成25年版男女共同参画白書

子どもへの関わり方がわからない

赤ちゃんの世話をしたことがない人が半数(男女18～49歳)

子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をしたことがありますか？



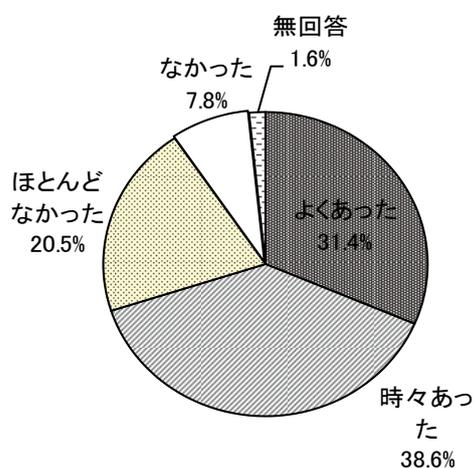
次世代育成支援に関する市民意識調査 平成20年度／横浜市

子育ての孤独と不安

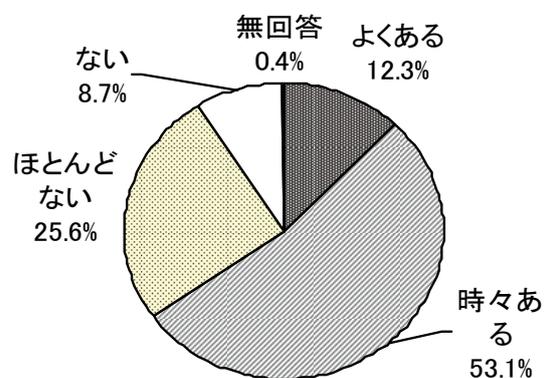
不安を感じたり自信がもてなくなるという人が、6割を超える

不安を感じたり、自信がもてなくなることはありますか？

【出産後、半年まで】



【現在】



次世代育成支援に関する市民意識調査 平成20年度／横浜市

父親への支援の意義と必要性

父親自身のため、家族のために必要なこと



ワーク・ライフ・バランスの一環として、事業を開始

父親の子育て支援

☆父親学校(父親向け連続講座)

横浜イクメンスクール

(H22・23年度/市全域対象、参加者数 3期・71人)

地域版パパスクール

(H24年度/市内4地区、H25年度/市内7地区で開催)

☆地域子育て支援拠点などでの「地域におけるパパ講座」

(H22～24年度/実施数 H22:15回(8団体)、

H23:39回(19団体)、H24:38回(17団体))

☆子育てパパ応援ウェブサイト「ヨコハマダディ」

(H22.7開設/月間ページビュー10,784)※H25.8月

<http://hamadaddy.city.yokohama.lg.jp/>

横浜イクメンスクール ～パパが主役の子育て講座～

○スクール開催概要

第1期 平成22年7月23日(金)～9月17日(金) 23人参加

第2期 平成23年1月14日(金)～3月4日(金) 20人参加

第3期 平成23年10月7日(金)～12月2日(金) 28人参加

回数:全5回 時間:19～21時

対象者:横浜市内在住・在勤・在学で未就学児のパパ及びプレパパ

○参加者の声

「様々な父親がいることを知り、自分の未熟さを思い知らされるとともに、人と違って肯定できる余裕が少し出てきた気がします。」(1か月、神奈川区)

「“良い父親”であろうとしてカリカリしていた時期もありましたが、“笑っている父親”を目指そうと思います。」(7歳・4歳、栄区)



地域版パパスクール

横浜イクメンスクールを発展→父親の地域定着・受講者増

横浜イクメンスクール		地域版パパスクール
希望者が多く抽選	定員	開催場所が増え、定員増
一般の貸会議室	会場	地域子育て支援拠点、区役所
父親のみ(平日夜間開催)	参加者	父親のみ、または子・パートナーも参加(休日昼間開催)
子育ての専門家	講師	・地元の子育て支援の担い手 ・先輩パパ ・子育ての専門家
・受講者が市全域にいるため、メールが中心 ・父親のみの「飲み会」が多い	修了後のつながり	・ご近所同士かつ、会場が活動拠点になるので集まりやすい ・家族ぐるみの付き合いに発展しやすい

広がる「地域版パパスクール」



**H25年11月に、全市合同公開講座を初開催
-各地区のパパたちによる、出し物タイムを企画中！-**

「ほどがやイクメン男子部！」の概要

ほどがやイクメン男子部！ ～笑っているパパになるための部活動～

実施日：H25年5月11日～6月22日(全4回)、土曜日の10:00～12:00

主催：地域子育て支援拠点「こっころ」

対象：これからパパになる方、主に0～3歳までのお子さんとパパ

参加者：14名のパパと家族（1～3回は父子参加。4回は家族参加。）

<内容>

第1回：なるほど！イクメン極意

父親育児、ワーク・ライフ・バランスに関するグループトーク

第2回：あなどれん！家事の技

「家事」＝“家の事すべて”と認識した上で、家事をシェアする秘訣

第3回：発見！パパと子の遠足さんぽ

お弁当を持って、公園へ父子遠足

第4回：そうか！自分発見なかま発見

家族ぐるみのグループトーク

<講師>

父親育児や子育て支援に携わるNPO、先輩パパ(横浜イクメンスクールOB)など

「ほどがやイクメン男子部！」の概要

<パパの声>

- パパ同士の本音トークができた。
- 他のパパの事も見ながら、自分も成長していきたい。
- ママに感謝の気持ちを伝えます。家事を共通の楽しみにしたい。
- 子どもと二人でイベントに参加したのは初めて。ママの大変さがわかった。

<ママの声>

- パパと子どもの距離が近づいたと思う。
- 帰宅すると、楽しそうに講座内容を話してくれた。
- 夫も私も、何をしたいか(してもらえばいいか)がわかる、きっかけになった。
- 自分一人の時間を持ちリフレッシュしたことで、また育児を頑張ろう!と思った。

実施の効果・パパたちのその後

- ★講座実施中、パパの発案で連絡・交流用のメーリングリストを立ち上げた
- ★講座に参加して、家族ぐるみで付き合いそうな人に出会ったパパ……86%
- ★家族バーベキューなどで交流、「こころ」のイベントで仲間を増やす呼びかけ

地域における「パパ向けイベント」



体を使った親子遊び、おもちゃ作り、ベビーマッサージ、パパ料理など、多彩なイベントを市内各地の子育て支援施設が開催

パパが子育てを楽しむきっかけに!
地元の子育て支援施設を知る機会に!

パパ友ネットワークの広がり

～パパ自身が楽しんで活躍～



地域子育て支援拠点等での
イベント企画・運営へ参加



パパの手づくりヒーローショー
「子育て戦隊 育児レンジャー」



メディア取材への協力
(NHKラジオ番組)



子育て支援イベントでの運営協力
(ノースポート・モール「みんなで子育て☆応援フェア」)

パパ応援ウェブサイト「ヨコハマダディ」



「父親の育児」に特化して、
子育て情報を集約

<コンテンツ(毎週更新)>

- ・地域のパパ講座情報
 - ー講座・イベントの開催予定
 - ーパパ講座レポート
- ・パパファイル
 - ー地域のパパのメッセージ
- ・お役立ちネタ帳
 - ーリレーコラム
 - ーパパブック(ウェブ版)
- ・イクメン著名人からのメッセージ
など

忙しいパパも、Webなら
いつでも・どこでも情報収集可能

パパブック ～父親を楽しもう～



父親育児の
極意を
一冊に集約！

パパの子育てを楽しく、
パパ自身の人生を豊かにするための
ノウハウや心構えを伝授！

H23年度から、年間約6,000部を
区役所や子育て支援施設、イベント等で配布

「ヨコハマダディ」からも
ダウンロードOK！

ワーク・ライフ・バランスの推進

○企業に向けた取組

☆よこはまグッドバランス賞

男女が働きやすい職場づくりを積極的に進める事業所を認定・表彰
(事業開始 H19年度/認定事業所数(累計): 105)

☆企業向けワーク・ライフ・バランス研修

(事業開始 H22年度/ 実施回数 H22: 6回、H23: 4回、H24: 3回)

☆企業人事担当者向けワーク・ライフ・バランス勉強会

(事業開始 H23年度/ 実施回数 H23: 2回、H24: 2回)

○企業やNPOとの連携・協働

☆ワーク・ライフ・バランス推進
実行委員会

☆横浜開港記念日にあわせた啓発



シニア世代に向けた「孫育て講座」の開催

求められるシニア世代

- ・孫の成長に関心の高い祖父母
- ・子育てにおいて祖父母を頼る親世帯
- ・祖父母と同居・近居しない子育て世帯

変化する子育て

- ・ライフスタイルの変化、多様化
- ・育児方法の世代間ギャップ
- ・晩婚化に伴う高齢出産の増加

祖父母と子育てに関する、
意見が合わない

孫の面倒で
頼られすぎる

いざという時に
頼りになる人がいない

子どもが大人に
なるまでに、
出会う大人が少ない

子育て世代・ 祖父母世代の悩み



区役所等で配布中

横浜市HP
からも
ダウンロード
OK!

「家族」と「地域」の孫育て

祖父母世代の役割、孫育てをサポートするポイントを学ぶ講座
(H24年度/3地区、H25年度/8地区で開催)

まとめ

“父親の子育て”支援



- 父親自身の人生を豊かにする
「学びの場」、「仲間づくりの場」
- 自分や家族の働き方、生き方を
「見つめなおすきっかけづくり」



“家族の幸せ”、“地域とのつながり”
をつくる

ご清聴ありがとうございました！



ヨコハマダディ

検索

<http://hamadaddy.city.yokohama.lg.jp/>



横浜市 ワーク・ライフ・バランス

検索

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/kikaku/wlb/>